

## 配合飼料タンクの安全性確保等の徹底について

配合飼料輸送においては、特殊車両（バルク車、ユニック車等）が使用されることが多く、畜産農家に設置されている配合飼料タンクへバルク車等から飼料を補充する際に、バルク車等のドライバー等がタンク横備え付けのはしごを上り、タンク蓋を開ける等の高所作業が発生します。

こうした状況において、飼料輸送に従事する者の安全性が危惧される事案が見受けられています。今一度下記を参考に飼料タンクの点検を行い、事故を未然に防ぐようお願いいたします。

### 1 配合飼料タンクの安全点検について

- (1) 配合飼料タンクを支える支柱、上るためのはしご等に腐食や不具合が生じていないこと。
- (2) 配合飼料タンクが傾いていないこと。
- (3) はしごの昇降がスムーズに行えるよう、配合飼料タンク周辺の除草、除雪等周辺環境を整備すること。

### 2 高所作業の負担軽減について

新たに設置または更新等される場合

- (1) 高さ2m以上で作業を行い、墜落の可能性が想定される場合、飼料タンクに背かご付のはしご等を導入する。
- (2) 飼料タンクのはしごを上らずに、蓋の開閉を可能とする紐を付す。
- (3) 飼料タンク内に残存する飼料量について、はしごに上ることなく確認できるセンサー等の技術を活用する。

### 3 地域の飼料輸送体制の維持について

配合飼料輸送については、バルク車等

を取扱う技術や高所作業・専門技術が必要となるため、今後、ドライバーの確保が難しくなる懸念があります。今後とも、輸送体制を維持するために以下のことをご確認ください。

#### (1) 農場管理者へのお願い

- ① 飼料メーカー、輸送業者等が効率的な飼料の製造計画や配送スケジュールを組めるよう、タンク内に残存する飼料量の適切な把握、余裕を持った発注に協力すること。
- ② 飼料タンク内に残存する飼料量の確認等の付帯作業を輸送業者に行わせる場合、業務に応じた料金を支払うこと。
- ③ 可能な限り効率的に配送できるよう、まとまった量で注文する等、輸送回数の低減に協力すること。

#### (2) 飼料メーカー・販売店へのお願い

- ① 輸送業者の効率的な配送スケジュールの構築に協力すること。
- ② 飼料タンク内に残存する飼料量の確認等の付帯作業を輸送業者に行わせる場合、業務に応じた料金を支払うこと。
- ③ 荷待ち時間の削減により、効率的な輸送に協力すること。（小森）

